

## 知事コメント

令和4年3月24日(木)

令和3年度も残すところわずかとなりました。今年度は春からアルファ株の置き換えりによる流行があり、夏にはデルタ株による流行が起こるなど、新たな変異株への対応を常に求められた一年となりました。

オミクロン株においても同様であり、(去る)3月16日の厚生労働省通知により、オミクロン株の特徴を踏まえた濃厚接触者の特定及び行動制限並びに疫学調査の実施について示されたところです。

本通知では、オミクロン株は感染・伝播性やその倍加速度が高く潜伏期間と発症間隔が短いため感染が急拡大することから濃厚接触者が急増し影響が非常に大きい、とする一方で、高齢者等への感染が急速に拡がると、重症者が増加し医療提供体制のひっ迫につながるおそれがあるとされました。その為、オミクロン株が感染の主流の間は、感染者との接触場所等によった対応が求められるとされています。

県では、この通知を受け、3月20日に専門家会議、昨日(23日)に経済対策関係団体会議からご意見を伺いました。そして本日、対策本部会議にて県の方針を決定しましたので、その概要をお知らせします。

オミクロン株の特徴を踏まえた対応として、「症状がある場合などには、保健所による濃厚接触者の特定等を待つことなく、感染防止対策を自主的に講じることが重要」とされております。

特に企業などの一般事業所においては、「濃厚接触者に対する一律の行動制限の実施は、社会経済活動への影響が大きくなるおそれ」があり、また「国民自らが状況に応じて感染対策を講じることにも期待される」ことから、「濃厚接触者の特定や行動制限は求めない」と記されております。

しかし、県としまして、感染拡大防止の観点から、事業所等で周囲に陽性者が確認され不安のある方への検査体制を維持することが必要と考えております。その為、国の対応を踏まえ濃厚接触者の特定をしないこととしつつも、感染が不安な方が検査を受けられるよう接触者PCR検査センター等の活用を推奨することと致しました。

また、保育所や幼稚園などは、国の通知においては「事業所等と同様に濃厚接触者が感染している確率は必ずしも高くない」とされておりますが、通園する乳幼児による自主的な感染対策の徹底が困難であることから、濃厚接触者の特定は行わないものの、陽性者が確認された際の学校・保育PCR検査により幅広い検査の実施を行い、感染リスクの高い行動の自粛をお願いし、陰性判定までの待機を推奨することと致しました。

小中学校、高校においては、陰性判定までの待機の推奨は行いませんが、子どもたちの間の感染を早期に探知できるよう学校・保育PCR検査については、継続して実施致します。また、部活動など学校において感染リスクの高い場面での接触があった場合においては、検査結果が判明するまでの間、出席停止とすることとしています。

そして本日の対策本部会議では、3月末までの方針に引き続き、4月以降の新たな対処方針「感染再拡大防止と社会経済活動を継続するための対策期間」についても決定しております。

新たな対処方針としましては、国の基本的対処方針やオミクロン株の特徴を踏まえ、①重症化リスクの高い高齢者に感染を拡げない、②子どもを感染から守る、③移動・会食に関するリスクを回避する、④ワクチン接種の加速を図る、の4点を中心に作成しており、会食は4人以下2時間以内といった要請は継続することとしています。

これまでと変わらず一人ひとりが基本的な感染対策を徹底することが最も重要ですが、その他急速な感染拡大に繋がる場面や、高齢者等重症化リスクの高い方への感染を招くおそれのある場面においては、細心の注意が必要です。

県対処方針においては、高齢者に感染を拡げない為の県の取り組みやご自分ができる感染対策、ご家族ができる対策、施設職員の方が気を付ける点などを呼びかけ、子どもを感染から守るために、保護者や学校等が実施する内容等について記載しておりますので、感染対策の取組みをよろしく申し上げます。

また、ワクチン接種につきまして、県は3月末までを「沖縄県ワクチン追加接種推進期間」とし、「全高齢者人口の70%への追加接種」を目標として取り組んでまいりましたが、3月18日にその目標を達成し、22日時点では71.6%、23万7,655人に3回目接種が行われております。県としまして、重症化予防は勿論のこと、社会活動を安定的に継続するためにも、市町村に呼びかけ、計画的な接種推進に取り組んでまいります。

接種推進の取組みとしまして、市町村においては、接種券無しでの接種、高齢者施設等への巡回接種に係る調整及び自治会と連携した住民への呼びかけ等、様々な取組みが行われておりますが、県においても広域接種センターにおいて、18歳以上の全年代への対象拡大、企業・団体枠の設置及び接種券無しでの接種を行うなど、県民が早期に接種できるよう取り組んでいるところです。

今後、3回目の接種の対象となる多くの64歳以下の皆様においても、県、市町村どちらの会場でも、ワクチン接種を推進してまいりますので予約できる会場で早期の接種をお願いします。

これからの季節は別れと新たな出会いの季節であり、多くの交流が想定されますが、重症化リスクの高い方を守り、県内の医療提供体制の確保のため、ひっ迫を防がなければなりません。先の専門家会議においては、沖縄県には肥満を抱えている方も多く、重症化リスクの高い方も多いといった旨のご発言もありました。

感染対策を徹底して集団感染を防ぎ、リスクの高い方と会う際には事前にPCR等検査で陰性を確認して頂くことが重要です。4月28日まで県内の無料検査を延長しておりますので活用して下さい。県民一丸となって取り組んでまいりましょう。よろしくお願いいたします。